

沖縄酒類製造業の自立的経営促進事業 (内閣府沖縄振興局・沖縄総合事務局総務部)

■ 事業内容：

海外への販路開拓などに向けた先導的・モデル的な事業の実施を泡盛酒造所に委託し、その取組結果、ノウハウ等を公表することにより、泡盛製造業全体として海外展開の動きの促進を図る。

■ 平成30年度予算額：33百万円

(参考) 平成31年度予算(案) 112百万円

■ 委託先：民間企業（泡盛酒造所等）

平成30年度事業は、以下の2事業を委託。

- ① 「沖縄白酒」 中国輸出&インバウンド展開事業（ピンコウHD、瑞穂酒造、南島酒販）
- ② 欧米での琉球泡盛のハードリカー分野における販路拡大に向けたブランド構築事業（Blueship沖縄、忠孝酒造、瑞泉酒造、久米島の久米仙）

欧米での琉球泡盛のハードリカー分野における 販路拡大に向けたブランド構築事業 (委託先：Blueship沖縄、忠孝酒造、瑞泉酒造、久米島の久米仙)

■ 委託内容：

- ・ 新パッケージ開発（新ボトルデザインと初期型ボトルの開発）
- ・ 初期型ボトルによるプロモーション
- ・ インポーターの開拓（欧米圏への物流網の整備）
- ・ 長粒種米の県内生産及び泡盛の製造

■ 主な事業：

- ・ H30.7～ボトル・ラベル制作
- ・ H30.8～県産長粒種米栽培
- ・ H30.8～国産長粒種米泡盛製造
- ・ H30.10～アイスランドでのプロモーション実施
- ・ H30.11～県産長粒種米泡盛の製造
- ・ H31.2～アイスランドで販売・プロモーション実施



RYUKYU1429.com

※プロモーションで用いている泡盛は、県産長粒種米で製造されたものではない。

長粒種米の県内生産及び泡盛の製造

■ 沖縄県農業研究センター石垣支所にて「夢十色」を栽培

天候（台風の襲来等）を考慮して2回に分けて田植えを実施。

■ 【圃場1】（20アール）

田植え：8月1日実施

収穫：11月5日

収穫量：660Kg（精米後の収穫量）

■ 【圃場2】（20アール）

田植え：8月20日実施

収穫：12月3日

想定収穫量：480Kg（精米後の収穫量）

➤ 合計数量1,140kg/40アール（285kg/10アール）

■ 【ジャポニカとの違い】

- ・ 発育状況：他のジャポニカとは異なり倒伏は見られず、草姿良し、風による粉のすれはあるが、収量に影響する可能性は低い
- ・ 収穫量の違い：同センターで植えているジャポニカと比較して多収が見込まれる



県産・県外産長粒種米による泡盛の製造

■ 県産長粒種米（夢十色）

➤ 沖縄県農業研究センター石垣支所で栽培した、県産長粒種米を使用した泡盛の製造を実施

<圃場1 収穫分>

蒸留所：忠孝酒造株式会社

収穫量：660Kg

数量：約560L

蒸留：平成30年12月12日開始

貯蔵：平成31年1月4日開始

<圃場2 収穫分>

蒸留所：株式会社多良川

収穫量：480Kg

数量：約410L

蒸留：平成31年1月開始予定

貯蔵：平成31年2月開始予定

■ 県外産長粒種米（ミズホチカラ）

➤ 県産長粒種米の栽培において天候によるリスク回避等のため熊本産長粒種米を購入し泡盛の製造を実施

購入量：100Kg（精米後3割減）

蒸留所：忠孝酒造株式会社

数量：60L

蒸留：平成30年8月6日開始

貯蔵：平成30年8月末開始

(参考) 県外産長粒種米により製造した泡盛の プロモーション

- 県外産長粒種米は、平成30年11月29日、30日に開催された「沖縄大交易会」において試飲を実施。
 - 沖縄大交易会（商談会）の併催事業として実施された「いいね！AWAMORI展」等において、県産長粒種米の栽培、泡盛製造の取組のPRのほか、国産長粒種米で仕込んだ泡盛の試飲を実施。



- 評価：泡盛の香り・味わいがすごく良いなどのコメントが寄せられた。
- 平成31年2月28日にアイランドで実施を予定している「第2回AWAMORI TASTE WARS」（泡盛カクテルコンペティション）に併せ、試飲を実施予定。
 - 現地のバーテンダーの方々に泡盛ベースの創作カクテルを開発してもらい、泡盛の認知度向上を図っていく取組としての「第2回AWAMORI TASTE WARS」において、国産米と外国産米の試飲会を通して違いの比較（風味等、イメージ）を行い、今後の県産長粒種米泡盛の海外戦略に反映させる。